
近畿病院図書室協議会と病院図書室研究会との
共同事業打合せ会報告

日時：1997年5月10日午後1時30分～5時
会場：聖路加国際病院1058号会議室
議題：インターネットと病院図書館員認定制
度の共同調査・研究

出席者：

近畿病院図書室協議会 小田中徹也(国立京都) 首藤佳子(星ヶ丘厚生年金) 大橋真紀子(社保中京)
病院図書室研究会
長谷川湧子(関東通信) 奥出麻里(川鉄千葉) 及川はるみ(聖路加) 山口文子(神奈川こども) 須磨倫子(厚生中央) 和田美津保(埼玉協同) 村松京子(東京衛生学園)

協議事項：2つの課題を共同調査・研究することにし内容と方法を協議した。その結果、長谷川湧子と小田中徹也の両名を総括責任者として、以下の事柄をすすめていくことにした。

●インターネット・プロジェクト (担当：奥出麻里、大橋真紀子)

病院図書室におけるインターネットの普及と利用拡大を目的に、両会が協力して研究、啓蒙活動と会員への技術的な支援を行う。そのために、今年度は次の事項に取り組む。

- (1)双方の研修あるいは講習会において積極的にインターネットを扱い、必要に応じて情報や講師の交換を図る。
- (2)インターネット上の情報リソースやテクノロジー面について調査研究し、相互に情報を交換するとともにその内容を会員に紹介する。
- (3)インターネットの利用における会員の意欲的な取り組みには、両会は協賛の形で支援する。さしあたり、雑誌特集記事デ

ータベースのインターネット上での構築にあたり、各会員への紹介やデータ提供の協力を募る。

●病院図書館員認定制度 (担当：首藤佳子、河合富士美)

病院図書室(館)が、新たな段階に入った今日の医療や情報分野に対応しその役割を効果的に果たすために、そこで働く「司書」の専門性を制度化することができないかを探る。そのため、今年度は病院図書館員の現状や関連職種の実態、海外の状況などを把握し分析する。また、専門性の根拠を検討する。()内は担当者

- (1)病院図書館員の意識調査による実態の把握(首藤)
- (2)関連職種の専門制度の実態(河合)
- (3)海外の状況(長谷川)
- (4)基本的な専門業務の抽出(両会)

これらの課題について、その成果や経過を検討するための次回会合を、今年の秋に京都市において持つことにした。

インターネット(WWW)上での
和雑誌特集記事データベースの案内

5月10日の病院図書室研究会との共同事業打合せ会報告にもありますように、両会会員の積極的なインターネット利用については当協議会と病院図書室研究会は協賛の形で支援することになりました。

そこで、昭和大学情報処理センターと株式会社サンメディアの協力を得て、病院図書室研究会会員の村松京子氏が試験的に作成された表記データベースについて案内いたします。関心のある方はご覧ください。

なお、データの提供やその他についてのお問い合わせは、下記あてにお願い致します。

URL <http://oomine.showa-u.ac.jp/ZATOKU/>
問合せ先： 関東通信病院図書館
Tel. 03-3448-6688 Fax. 03-3448-6687